イヒナビ

vol.21 ihinavi

旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店

～大手メディアも記事にしている漫画に書かれた地震予想～

2025年７月大地震は起こるのか？

～備えあれば憂いなし～

今からできる地震対策！

～安心を家という形で手にいれる～

これから家を建てるなら災害に強い家

大手メディアも記事にしている地震予想

2025年7月大地震は起こるのか？

NHKや新聞社が報道する「７月大地震」の噂の根源は？

NHKによると、「香港からの観光客が2025年7月には日本へは行かない理由」として、「2025年7月5日に日本で大災難が起きる」という“うわさ”が広がっていると報道しています。香港では、各種ニュースサイトなどで“うわさ”のもととなったマンガが報じられ、3月に南海トラフ地震の発生確率が高まったことなども、この噂の信憑性であると捉えています。

東日本大震災を予知したという、注目の漫画はこちら

画像：飛鳥出版より

『私が見た未来・完全版』（飛鳥新社）という漫画の作者であるたつき諒氏は、東日本大震災を予知していたと言われています。左の画像が表紙なのですが、その一部に「大災害は2011年3月」と書かれており、東日本大震災のことであると言われています。この漫画は1999年に刊行されているので、かなり前に描かれているものです。

そして、なんとこの漫画の完全版では本当の大災難は2025年7月と描かれており、この漫画の影響で、香港では日本行きの飛行機が３割も減少したそうです。作者のたつき諒氏は昔から、夢での記憶を日記としてメモしており、この日記が「私が見た未来完全版」には公開されているようです

防災意識を高めるきっかけに

ノストラダムスの大予言では1999年に世界が滅亡されると言われていました。
世界中でこの予言が広まり、核戦争が起こるのではないか？大災害で地球が滅びるのではないか？と話題になりました。しかし実際には何事も起きずに1999年は過ぎていきました。
ご紹介した漫画では、作者が夢での記憶をベースにし、2025 年7月の大災難がやってくると描かれていますが、あくまでも漫画です。このようなものをキッカケに防災対策を今一度見直してみていただければと思います。

備えあれば憂いなし！

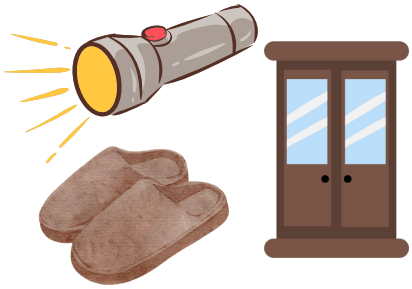
今からでもできる地震対策

さまざまな噂や根拠のないネットニュースなどに惑わされる前に、まずはどんな災害があっても被害が少なくなるための対策をしておくことが大切です。今回は東京消防庁のホームページでも紹介されていた地震対策をご紹介していきます。

【身の安全の備え】

①家具類の転倒・落下・移動防止対策大地震が起きた場合、怪我や死亡に繋がるのは、家具が倒れてきたことにより、衝撃を受けたり動けなくなることが原因です。

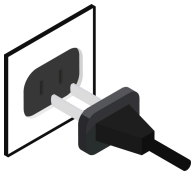
②ケガの防止対策
食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの 飛散防止措置をする。
懐中電灯はすぐに使える 場所に置いておく。
散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを
身近に準備しておくことが大切です。



【初期対応の備え】

①火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置。

②普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。



③電気に起因する火災の発生を抑制するため、感震ブレーカー（分電盤型）などの防災機器を設置などを行いましょう。

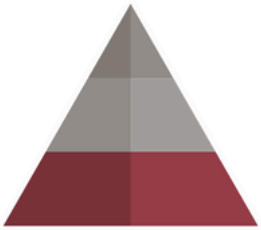
【確かな行動の備え】

①家族内での役割分担や、連絡方法や集合場所を決めておくこと。

②地域の危険な場所を確認しておくこと。

③防災知識を身につけ、防災行動力を高めておくこと。

これから家を建てるなら家族を災害から守れる家



TOTAL RESILIENCE

災害に逞しく立ち向かう。
ヘーベルハウスは総合防災力を
備えた家。

VS 地震
実績と実証を重ねてきた揺るぎない強さで大地震に対抗。頑強な骨組みと独自の制震技術で繰り返しの地震に耐え、家族の命と暮らしを守ります。

VS 火災
過酷な試験をクリアした耐火構造部材のヘーベル版を壁・床・屋根※に採用。万一の火災にも耐え、類焼、延焼による被害の拡大を食い止めます。※プランによって異なります。

VS 生物劣化
完全無機質で腐朽しないヘーベル版と鉄骨で構成することでシロアリや腐朽菌に対抗。生物の影響による構造体の損傷を抑え、住まいの強さを末長く維持します。

VS 猛暑
高温多湿な夏でも厳しい冬の寒さでも、いかに快適に暮らせるか。外気温からの影響を遮り、冷暖房効率を上げ、住まいの快適性を高めます。

VS 風水害
ヘーベル版を配した独自構造は、頑強な鉄骨構造で強風に対抗。また浸水による性能劣化や腐食の心配もなく、継続使用が期待できます。

二世帯住宅や賃貸併用にして賢く家を建ててみませんか？

ヘーベルハウスでは、二世帯住宅や賃貸併用住宅など土地を有効活用したご提案をさせていただいております。災害など未来への不安が募る中、二世帯住宅や賃貸併用住宅にしておくことで、将来何かあった時でも、家の一部を賃貸にしたり、賃貸収入などを得られる仕組みにしておくことで、建物の構造だけでなく、仕組みで家族の未来を支えていくことができるのです。

＜編集後記＞

地震はいつどこで発生するのか予想が中々できません。しかし、今年に入り、南海トラフ地震の発生確率が高まっていることが発表され、必ず大きな地震は起こることを念頭に入れておいていただければと思います。

「うちは大丈夫だろう」「このエリアなら安心なのでは？」そんな想いを誰もが持っていると思います。

しかし、万が一の時への備えは、無駄になったとしてもぜひ対策を行っておいていただきたいと思います。

ヘーベルハウスでは、単に「家を建てる」だけではなく、その先の未来を見据えた上で、どんな家づくりが必要なのか？二世帯住宅というスタイルや賃貸併用住宅などへの提案も行いながら、皆様の未来に安心を与えられるよう家づくりをしていきたいと考えています。

現在は、土地活用という観点から考えた家づくりが注目されています。ぜひ、小さなことから私たちにご相談いただければと思います。皆様からのご連絡お待ちしております。

旭化成ホームズ株式会社 東京法人支店